

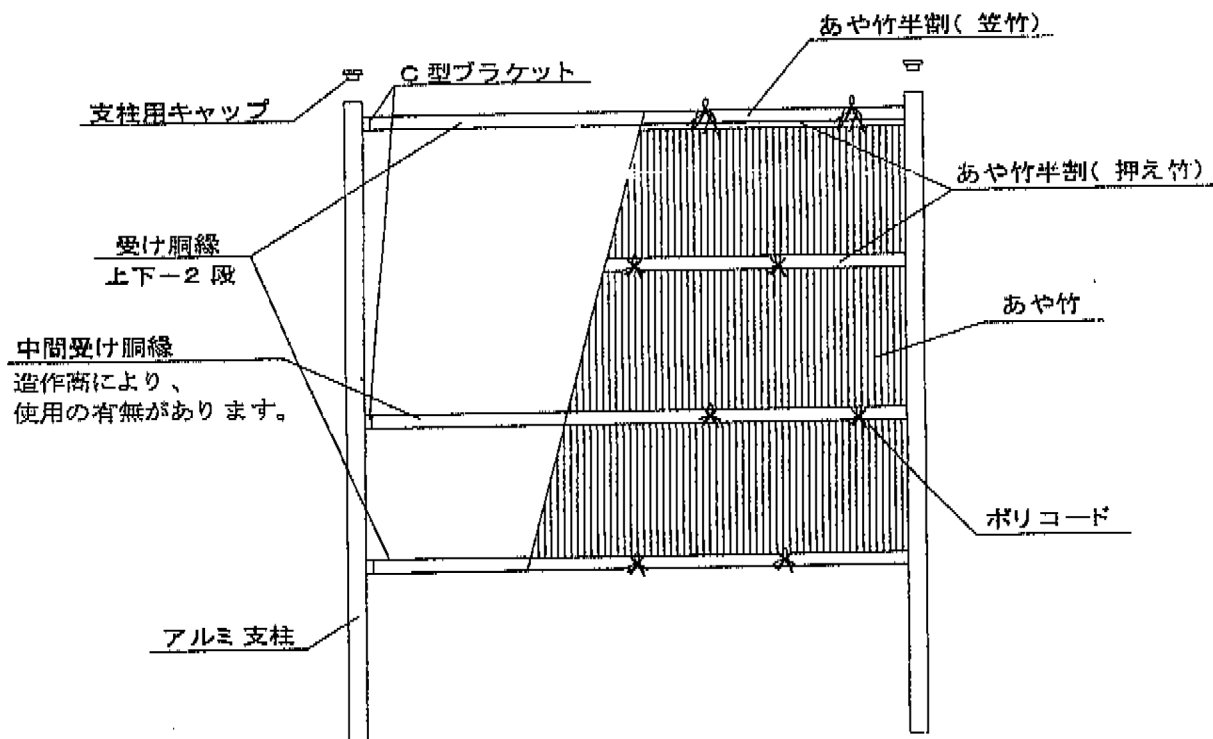
付のあるくらし
タケヒロ産業

人工竹垣シリーズ

組立説明書
縦みす垣
柱見せタイプ

このたびは、弊社の人工竹垣フェンスをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書には、製品を安全にご使用いただくための注意事項が記載されております。製品を施工される前に、必ず本書の「設置上のご注意」、「施工上のご注意」、「組立説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

□部材構成及び各部名称

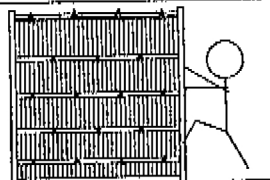


□使用上のご注意

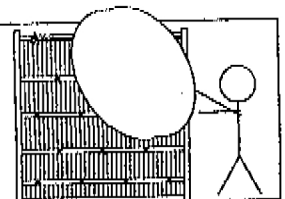
フェンスは、隣地境界を目的に設置するものです。防壁柵や手すりとしては使用しないでください。

⚠ 注意

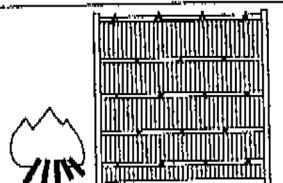
ケガをする恐れがありますので、揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。



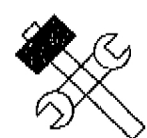
重みで変形することがありますので、雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。



樹脂製品は、熱変形温度が低く、引火の可能性もありますので、近くでたき火等をしないでください。



ネジやボルトなどは、勝手にゆるめたり外したりしないでください。また、加工・改造したりしないでください。



お問い合わせは
株式会社 タケヒロ産業

〒444-0104 愛知県額田郡幸田町坂崎東鳴沢15-1

タケヒロホームページ <http://www.takehiro.co.jp>
メールアドレス takehiro@takehiro.co.jp

TEL (0564) 63-1212 (代)
FAX (0564) 63-0832

▲ 注意

- 商品の施工につきましては、必ずこの組立説明書に従ってください。
- フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すりとしては使用しないでください。

設置上のご注意



注意

- 竹垣は、風当たりの強いところや、地盤の弱いところなどで使用する場合には、必ず補助の柱(控え柱)が必要です。別途ご相談ください。
- 人工樹脂は、一般金属などと比べると、熱変形温度が低く(約80~95℃)、引火の可能性もありますので、火気のそばや高温を発するところでは使用しないでください。

施工上のご注意



注意

- 商品を組み合わせて使用する場合、指定の部材を使用してください。指定外の部材の使用はお避けください。
- 人工樹脂素材は、温度差により伸縮します。パネルなどを違う材質のものと固定する場合、ビス穴等には必ず余裕を持たせてください。
- 人工竹垣の各部材は、他社の類似製品とは素材、品質、仕様が異なります。他社製品との併用はお避けください。
- 柱は必ず地中に埋め込み、コンクリート等で固定してください。
- コンクリートに使用する砂に、塩分を含んだ海砂などは避けてください。アルミ合金が腐食する恐れがあります。
- コンクリートに速乾性添加物を入れないでください。アルミ合金が腐食する恐れがあります。
- 設置場所の地下埋設物の有無を確認し、破損しないようにしてください。
- 寒冷地では凍結により、埋設部分が浮上することがありますので、その地域の凍結震度に合わせて基礎を考慮してください。
- 仕上後、本体についたモルタルを完全にふき取ってください。硬化してしまうと、ふき取り時に製品の表面を傷めますのでご注意ください。
- 施工にあたっては、製品の水平・垂直、ねじれ等にご注意ください。
- みだりに製品の改造を行わないでください。
- 施工完了後、ボルト、ねじ、金属等の緩み、脱落がないか再度点検してください。

工事店さまへのお願い



注意

- 施工完了後、組立説明書及び取扱説明書は、施主さまにお渡しください。
- 廃棄する場合は、素材ごとに選別し、一般廃棄物と一緒に処理しないでください。

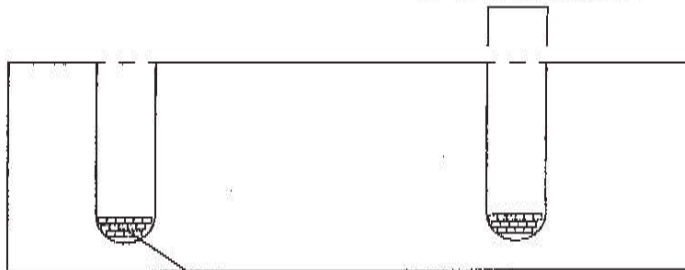
Step
1

基礎の準備

埋め込み式 施工

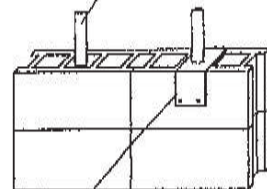
200mm以上

550mm程度

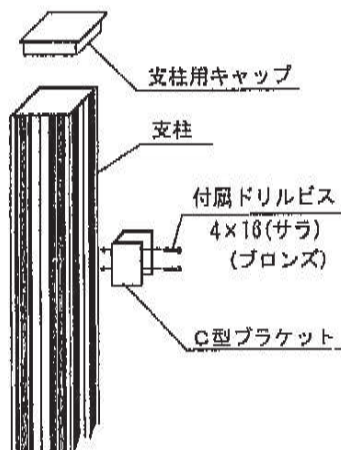


下がり止め

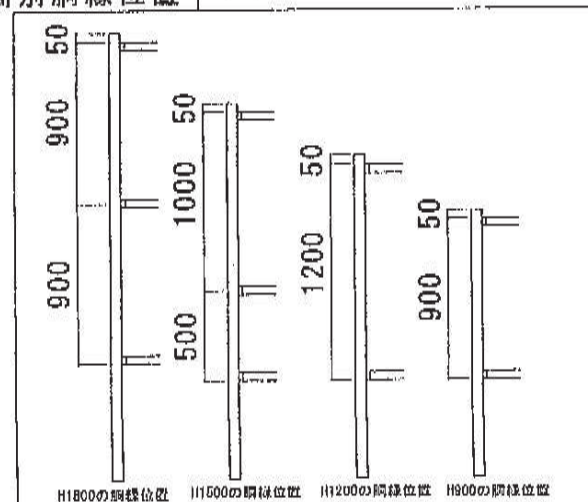
※その他の施行方法

コンクリート上で施工
ベースプレートを使用ベースプレート
(アンカーボルトで固定)ブロック上で施工
インナーパイプを使用
インナーパイプブロック用ベースプレート
(貫通ボルトで固定)① 同封の部材明細と
梱包内容をご確認ください。(納品後、一定時間を経過
してから、不足品が出て
も保証できかねる場合があり
ますので、最初に必ずご確認
ください。)② 支柱の埋め込み位置を
算出し、基礎穴を掘ります。(※地下埋設物を傷つけない
ようご注意ください。)③ 支柱の下がりを防ぐ
ため、穴底には、石や
ブロックなど硬く平らな
ものを敷いてください。Step
2

C型ブラケットの取り付け



造作高別胴縁位置



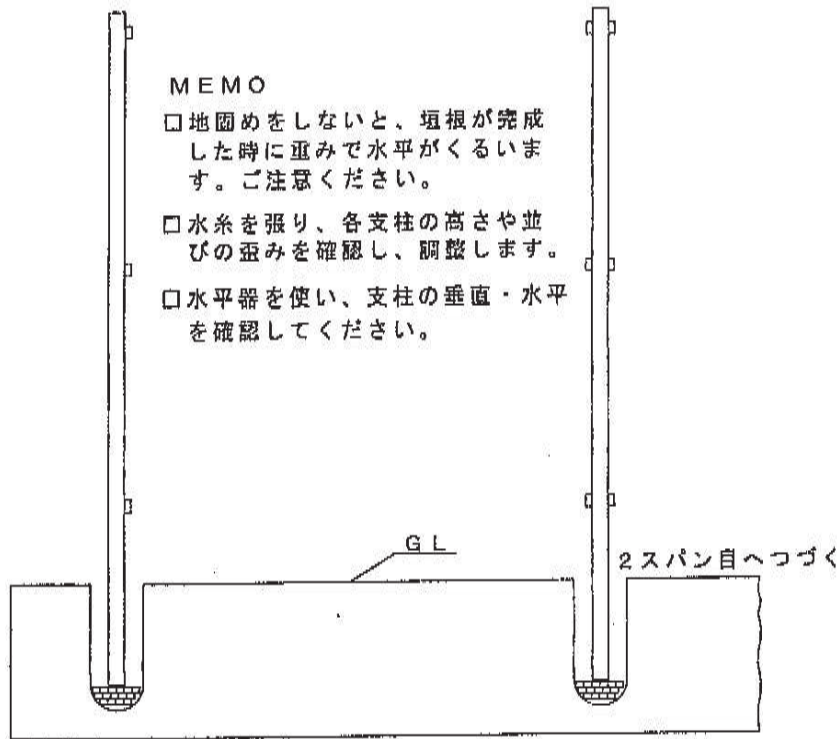
H1800の胴縁位置 H1500の胴縁位置 H1200の胴縁位置 H900の胴縁位置

※注意

丸柱の場合は、柱のセンターに
ガイドラインを引き、センターを
明確にして、C型ブラケットの
縦位置のブレを防いでください。① 支柱上部に支柱用
キャップを取り付けます。② 下図（造作別胴縁位置）
を参考に、C型ブラケットを
付属のビス（ブラケットの
袋に同梱しています。）で、
取り付けます。

Step
3

支柱埋め込み



①支柱を基礎穴に差し込み、高さと並び、垂直と水平を確認し、コンクリート等を流し込み固定します。

支柱についた余計なコンクリート等は完全に拭き取って下さい。硬化してしまうと、拭き取った時に製品の表面を傷めますので、ご注意下さい。

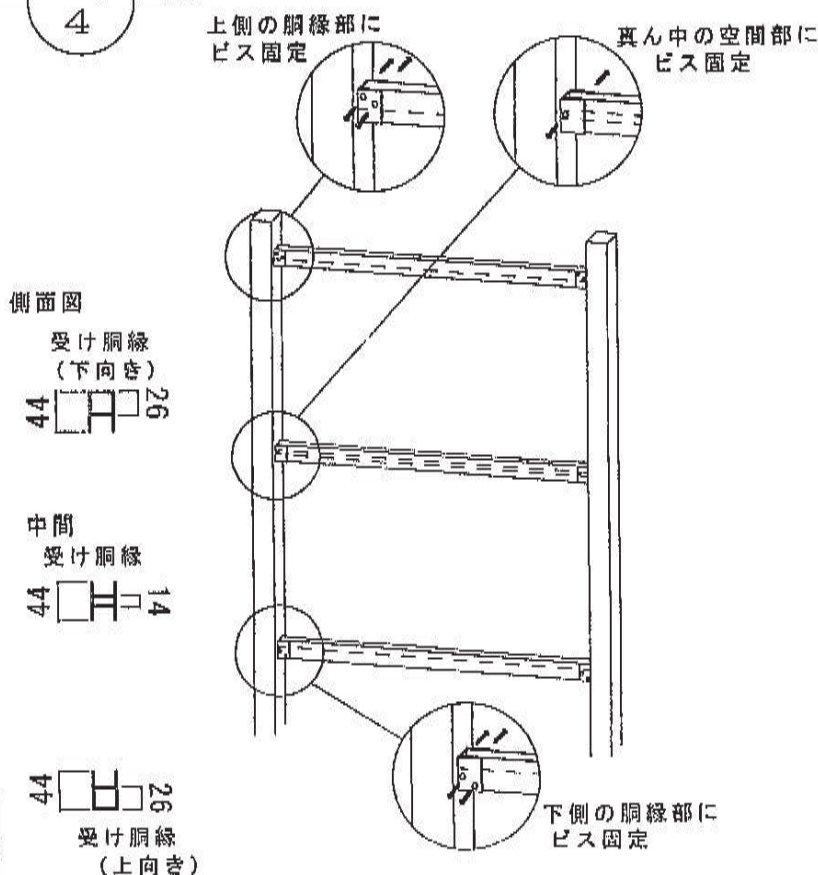
※注意※

- ・コンクリートに使用する砂に塩分を含んだ海砂等の使用は避けて下さい。アルミ合金が腐食する恐れがあります。
- ・コンクリートに速乾性添加物を入れないで下さい。アルミ合金が、腐食する恐れがあります。

(上下の受け胴縁を、仮固定すると水平等の確認がしやすくなります。)

Step
4

受け胴縁(中間受け胴縁)の取り付け

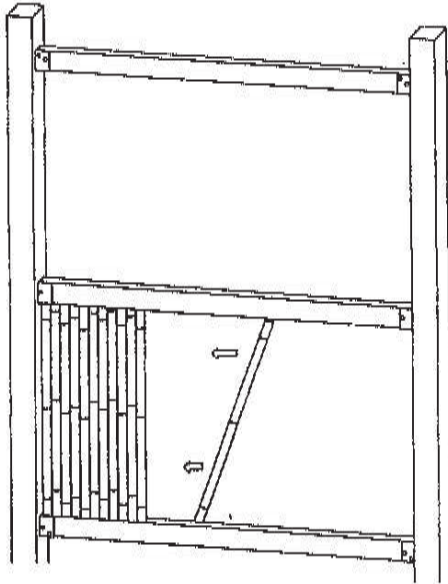


① C型ブラケットに、受け胴縁・中間受け胴縁を取付して下さい。
(4×16ビスを使用)

(丸竹の長さが短いスパンの場合
(H1500の下側など)
上側の胴縁は、仮固定として
おいて下さい。)

Step
5

縦組子の流し込み作業



① 丸竹を1本ずつ流し込み
ます。

※注意※

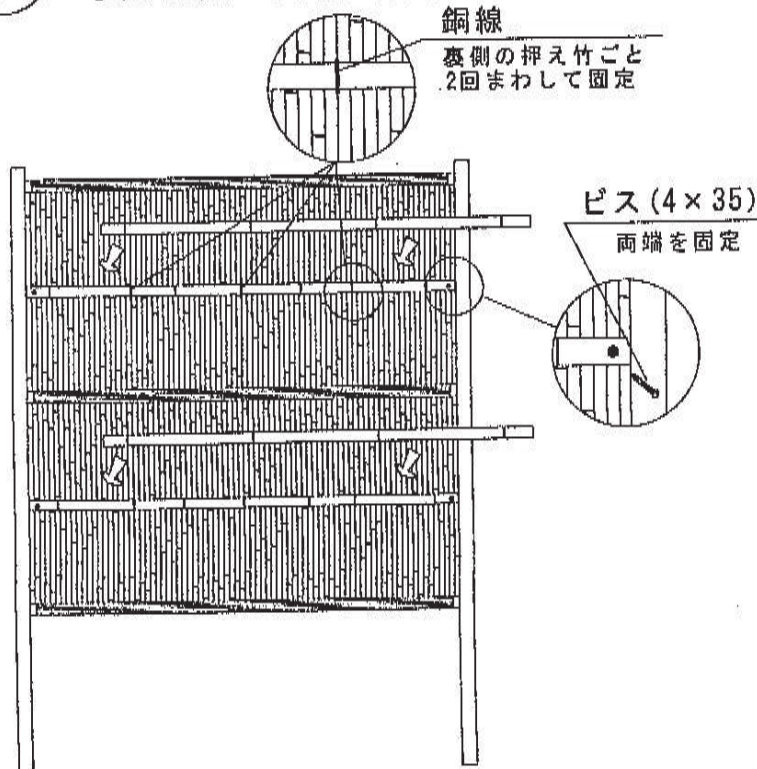
丸竹の節と節が、あまり同じ
位置に揃わないように、丸竹の
上下を入れ替えたりして、調整
すると、よりきれいな仕上がりに
なります。

(片側の端から入れていき、残りが
少なくなったら、反対側の端から
先に入れて行くと、最後が入れ
やすくなります。)

Step
6

押え竹の取り付け ①

受け胴縁・中間受け胴縁のない部分



①表側の押え竹(半割50φ)
の両端を縦組子にビス
(4×35)で固定します。

②同様に裏側の押え竹の
両端もビス(4×35)で
固定します。

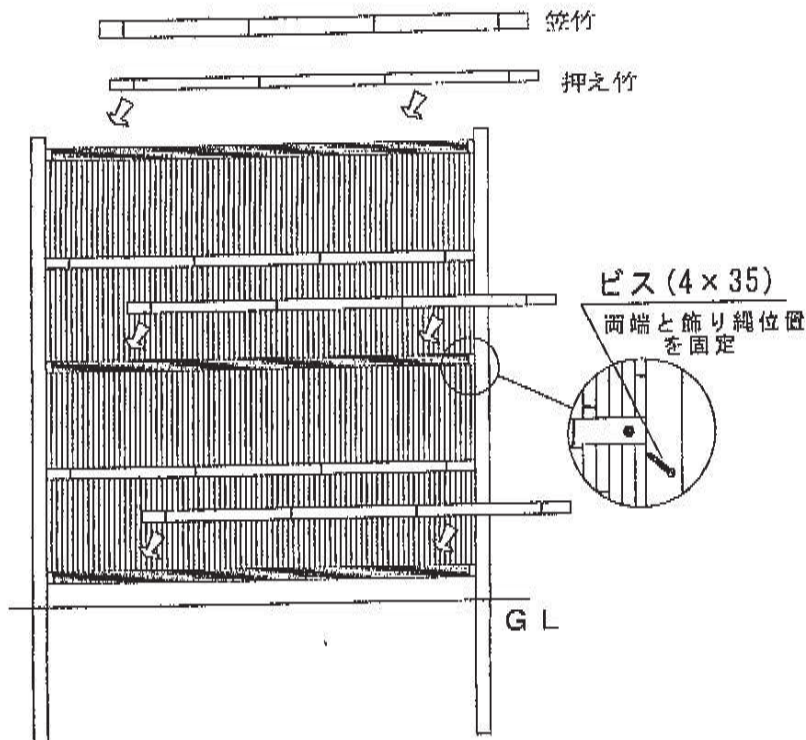
(表と裏のビスが当たらないように
ズラして取付けして下さい。)

③表面と裏面の押え竹を
銅線で固定します。
位置は、飾り縄をつける
場所です。

Step
7

押え竹・笠竹の取り付け ②

受け胴縁・中間受け胴縁のある部分



①表側の押え竹（半割50φ）の両端を受け胴縁（中間受け胴縁）に（4×35）で固定します。

②同様に裏側の押え竹の両端もビス（4×35）で固定します。

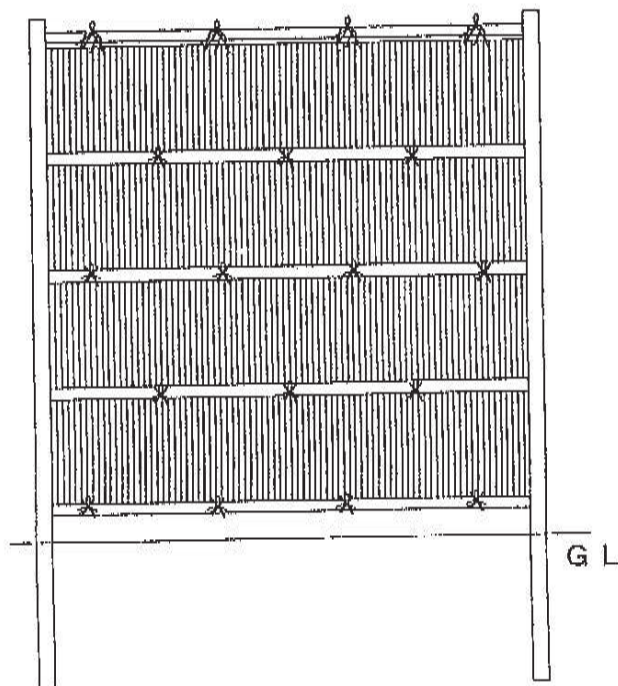
（表と裏のビスが当たらないようにズラして取付けして下さい。）

③間もビスで固定します。ビス位置は、飾り縄をつける場所です。

④笠竹（半割63φ）も同様の位置にビス固定してください。

Step
8

飾り縄の縄かけ



① ポリコード（人工棕櫚縄）を押え竹のビスと銅線を隠すように縄かけしてください。

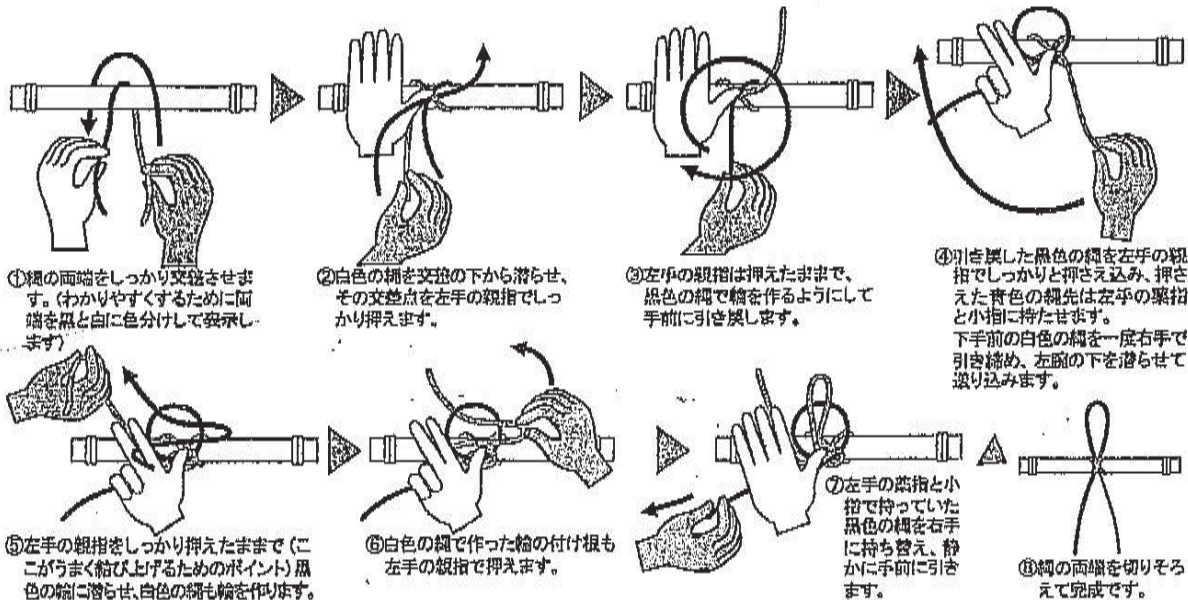
（結び方は、Step9を参考にしてください。）

※アルミ骨組みのある部分は、縄が通しにくいので、ビスを緩めて通して下さい。

（最下段の飾り縄は、現場状況で、かけられない場合もあります。）

Step
9

飾り縄の結び方

Step
10

お手入れのお願い

●人工丸竹のお手入れ方法

- ・軽い汚れの場合は、真水で洗浄してください。
- ・ひどい汚れの場合は、表面の砂などを取り除き、薄めた中性洗剤で、傷を付けないように柔らかい布等で洗浄してください。
- ※特にひどい汚れを落とす場合でも、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤や、酸性洗剤・アルカリ洗剤などは、ひび割れ等の原因となりますので、絶対に使用しないでください。また、金属ブラシや、やすり等もパネル面を傷つけますので絶対に使用しないでください。

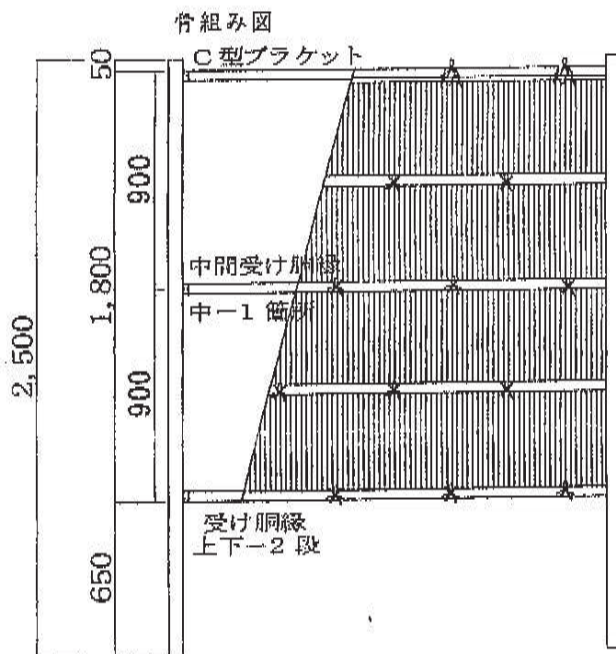
●アルミ部材のお手入れ方法

- ・通常のお手入れの場合は、年に1~2回、定期的に水洗いをしてください。(汚れのひどくなる工業地帯や海岸地帯は、回数を増やしてください。)
- ・落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とし、洗剤が残らないように真水で洗い流します。その後十分に拭きをしてください。
- ※特にひどい汚れを落とす場合でも、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤や、酸性洗剤・アルカリ洗剤などは、ひび割れ等の原因となりますので、絶対に使用しないでください。また、金属ブラシや、やすり等もパネル面を傷つけますので絶対に使用しないでください。

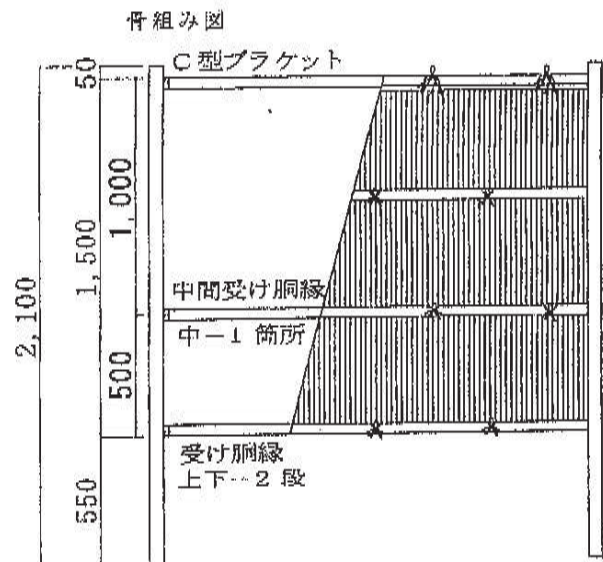
●各部材のご注意

- ・パネルや、アルミ部材が老朽化したり、破損した場合には、速やかに施工店、もしくは販売店に相談してください。
- ・そのまま放置しますと、事故につながる恐れがあります。

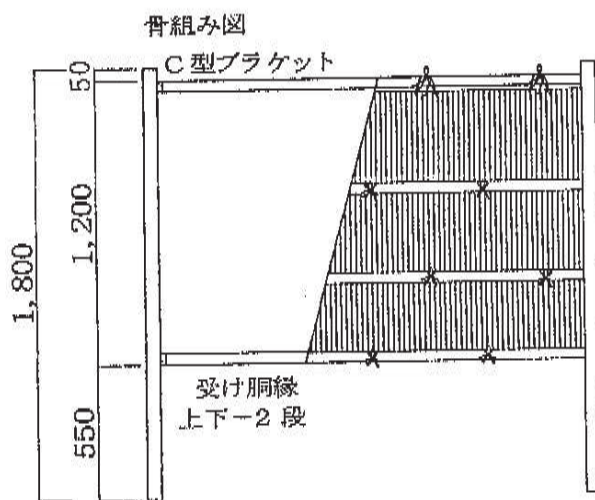
造作 H 1800mm 参考寸法図



造作 H 1500mm 参考寸法図



造作 H 1200mm 参考寸法図



造作 H 900mm 参考寸法図

